

11 姉妹

わたしたちは 血をわけた姉妹でした
妹の美しさは わたしをはるかに凌ぐものでした
風が 塔と樹立ちのなかを吹いている
妹は彼と密かに逢ううちに 辱めを受けました
だから復讐が わたしに当然の義務つとめになりました 5
ああ 伯爵は見るも美しい方でした！

妹は死んで 地獄の燃える炎につつまれました
由緒ある家系を 汚辱の血で染めたからです
風が 塔と樹立ちのなかを唸っている
何週間も何カ月も そして朝も夜も 10
彼の愛をかちとるために わたしは待ち伏せしました
ああ 伯爵は見るも美しい方でした！

ご馳走をつくり 彼を招きました
ついに心を奪い 彼を館やかたに迎えました
風が 塔と樹立ちのなかを轟いている 15
そして晚餐のあと ベッドの上で
わたしの膝を枕に 彼は横になりました
ああ 伯爵は見るも美しい方でした！

彼の瞼まぶたに接吻くちづけをして 眠らせました
赤らんだ頬ほほは わたしの胸の上にあります 20
風が 塔と樹立ちのなかを怒り狂っている
わたしは彼を 悪魔のごとく憎んでいました
でもその美しさを 天使のごとく愛していました
ああ 伯爵は見るも美しい方でした！

わたしは 夜の沈黙しじまのなかに起きあがり 25
短剣を 鋭くギラギラと研ぎました
風が 塔と樹立ちのなかを荒れ狂っている
眠りが浅いのか 彼は寢息をたてていました
三回 わたしは彼を突き刺しました
ああ 伯爵は見るも美しい方でした！ 30

その美しい御髪を 巻いては櫛で梳きました
息絶えたそのお姿は とても威厳がありました
風が 塔と樹立ちのなかを吹いている
わたしは 彼の死体をシーツに包み
母君の足元に差し出しました
ああ 伯爵は見るも美しい方でした！

35

(山中光義訳)